

JAMトピックス

J A M
第 2 3
中 央 委 員 会
回 会

とどろき利治氏必勝

参院選 あらゆる行動を

2013年6月11日
編集：JAM本部

2013—15年度の運動方針骨子、13春闘の中間総括、参院選とどろき利治氏の必勝をめざす政策制度実現の取り組みなど7本の議案を討議・決定した第23回中央委員会が5月28日、都内で開かれた。

冒頭のあいさつで真中行雄JAM会長は次のように述べた。経済、政治情勢は安倍総理の経済政策により、期待先行で円安、株高となっている。しかし、実態経済としての景気回復感は乏しく、中でも中小企業にとっては、急激な円安により原材料費・燃料費のコストアップにつながり、その分の価格転嫁もままならず、厳しい状況である。



<真中会長と固く握手するとどろき利治議員>

①13春闘については円安・コスト上昇の中、61%が解決し、全体平均で4,342円（前年同一単組比較プラス5円）、同300人未満で4,154円（マイナス3円）と健闘した。是正・改善では312単組が取り組み、143単組が1,080円の是正・改善を実現した。

また、「60歳以降の雇用の確保と条件整備」も積極的な取り組みで、177単組で制度確立、交渉中が250単組となっている。内容では継続雇

用が400を超え、定年延長が29単組となった。

②政策実現の取り組みでは、安倍政権の支持率は高く、参議院でも過半数超えの可能性もある。改憲手続きの96条問題や、ホワイトカラーイグゼンプション、解雇し易くする限定正社員など労働組合として看過できない問題が改悪されてしまう危機となる。ぜひ、比例代表では「とどろき利治」氏、兵庫選挙区の「つじ泰弘」氏を絶対に当選させなければならない。「考えられるあらゆる行動を」願います。

③JAM組合員は結成時の48万人から現在は35万人まで減少して、組合財政が厳しくなっている。活動費の一律20%カットなど、経費節減をおこなっているが、財政の安定化の為に納入率の引き上げなど、理解を訴えた。



<株価と内閣支持率との関連を語る金子教授>

中央委員会に先立って、金子勝慶応大学経済学部教授より「アベノミクスの背景と地域分散ネットワーク型社会の展望」と題して、安倍政権の経済政策の問題点、エネルギー政策、今後のあるべき社会について講演がおこなわれた。